
久留井三兄弟のお引越し

高平しま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

久留井三兄弟のお引越し

【Nコード】

N1078U

【作者名】

高平しま

【あらすじ】

連載中の小説『久留井三兄弟の非現実的な日常』（<http://ncode.syosetu.com/n0556u/>）の番外編的小説です。飛鳥川琉奈と出会う前、引越し準備をする三兄弟の様子を切り取りました。

(前書き)

連載中の小説『久留井三兄弟の非現実的な日常』(<http://ncode.syosetu.com/n0556u/>)の番外編的小説です。飛鳥川琉奈と出会う前、引越し準備をする三兄弟の様子を切り取りました。

衣類を詰め込んだダンボールをガムテープで閉じ、疲れましたと言わんばかりのため息を零した瞬間、自室のドアをノックする音が、部屋の主である久留井誠一の鼓膜を叩いた。

「はいよー」

背にしているドアを振り返ることなく返事をし、畳まれている別のダンボールを組み立て始める誠一。

そんな彼の部屋を訪れたのは、一つ年下の弟・祥吾だった。

「兄貴、使わないダンボールない？」

「うっん。多分余らないと思うよ。足りないの、祥ちゃん？」

ようやく振り返り、弟に問いかける誠一。

祥吾は困り果てた表情で一度、深く頷いた。

「自分のダンボールが足りなくなるくらい荷物あるの？」

「そんなについていうか……服が結構嵩張るんだよ。あと」

「エッチな本？」

祥吾の言葉を遮り、右の口角を吊り上げながら誠一が問いかける。あらぬ疑いをかけられた祥吾は頬を朱色に染めながら、

「違っ……俺は兄貴みたいなエロ大王じゃないから！ CD！ C

Dがたくさんあるの！！」

と大声で反論した。

「エロ大王って……。むしろ当然でしょ、健全な青少年としてエロ本くらい。あ、彰には訊いた？ あいつなら俺よりダンボール残ってるかもしれないよ？」

そうアドバイスされた祥吾は、ついでに誠一も、一番下の弟である彰の部屋へ向かった。

「二、三個なら余ると思いますけど」

「それだけあれば十分！ ありがとう、彰！」

末っ子の彰から、板状に置まれたダンボールを受け取る祥吾。その様子を見守りつつ、誠一は彰の荷造り状況にも目を遣る。

「彰は荷物少ないんだなあ」

「エロ大王はエロ本だけでダンボールいっぱいなのにな」

「!？」

すっかり弟になめられた誠一は、「俺はエロ大王じゃねえし！」と喚きながら祥吾にプロレス技をかける。

そんな兄二人の姿を生暖かく見つめながら、彰が答えた。

「まあ、僕はクローゼットの奥だけで十分ですから」

その言葉を聞き、誠一は祥吾に技をかけた体勢のまま固まってしまった。

「? どしたの、兄貴？」

「あいつ……いつの間に俺のエロ本の隠し場所を特定してたんだ？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1078u/>

久留井三兄弟のお引越し

2011年10月9日08時50分発行